

「小水力発電事業相談会」が始まります。

100年以上も前から水力発電は三居沢発電所、蹴上発電所に始まり、日本の貴重な電源として開発され現在も稼働しています。

21世紀の再生可能エネルギーの時代に先人たちの努力に想いを馳せ、地域活性化に役立つ小水力発電のいっそうの拡大をはかりたいと思います。

10年前から全国小水力利用推進協議会は小水力発電の普及・啓発活動に取り組み、全国で大きな期待と関心が広がっている一方で、事業化に向けた困難や課題に直面している地域も少なくないと考えています。



三居沢発電所 仙台市
1888年(明治21年)



蹴上発電所 京都市
1891年(明治24年)

水力開発は調査に始まる初期段階から、歴史の中で試された事業化のための「ルール」があり、蓄積された知識や経験があります。

これらを活かして各地の事業化のための取り組みや事業環境の整備をお手伝いするために、理事会のもとに「小水力発電事業相談会」(具現化推進委員会)をスタートさせることになりました。

相談会の主な内容は **HRA**

- ◆ 地域の取り組みのヒヤリング・現地調査
 - ◆ 開発手順・運転・保守管理等の「ルール」の共有化
 - ◆ 事業化のための必要なアドバイス
- 等を行います。

**H e a r i n g
R u l e
A d v i c e**

事業相談会は水力開発の経験や知見を有する専門家等でチーム(委員会)を編成し、東京事務所での相談会開催や現地調査にも取り組みます。

水力協会員や事業化に関心のある皆さんからお申し込みをいただき、日程調整のうえ開催します。相談費用は無料ですが、現地調査の旅費・実費はご負担いただきます。ぜひご活用ください。お申し込みは……………

全国小水力利用推進協議会 事務局まで
Tel.03-5980-7880、Fax.03-5980-7065



2017年7月

全国小水力利用推進協議会・理事会